

## 時 報

# 中規模草地改良事業の進捗状況

昭和 38 年度における中規模草地改良事業計画は、既に造成された草地の維持利用状況等を勘案し、真に農業経営の安定のために役立つ草地を造成することを重点目標として実施した。過去における実績については全国的にも上位にランクされていたが、造成後の利用方式、利用実績については未だしの感があったので、本年度の当初造成目標 450ha を実施することは却って従来と同様の結果を招くものと考え、補助対象事業量を修正し 291ha 造成にしぼり、一方既成草地の利用促進についての調査指導に努力することとした。事業計画については、前年度及び前々年度よりの継続事業計画 294.55ha のうち 109.62ha が第 1 次計画としてすでに内示され、そのうち新規事業計画 192.9ha のうち 63.9ha (前年度地区調査計画中に事業着手されたもの約 40ha を含まず) が第 2

次として内示され、本年度計画 291ha に対し 83%がすでに事業着手の段階となった。

更に目標面積完遂のため地域開発と農業経営改善の 2 大目標に沿った調査と督励を行ない末端組織に基盤整備、草地開発の趣旨を徹底し第 3 次分として 141.42ha を確保した。これにより今年度事業面積は合計 315.9ha となった。

また利用施設趣旨徹底と利用方式の確立、造成草地の維持管理、権利調整等について綿密周到なる計画のもとに、農業経営の安定と、基盤整備に邁進し所期の目標完遂に努力しているので事業主体、利用農家の方々も特に造成後の維持管理等に努力して戴きたいものと思います。